



日々、そして
将来の糧に

my
photo



from
India

写真・文
増田萌那

出版社を退職後、思い立ってインドへ。南インドのバンガロールで、日本語情報誌の編集デザインに携わる。現在は日本でフリーランスの編集・デザイナーとして活動中。



東インドのオリッサ州は、ヒンドゥー教の教えの影響や伝統が色濃い場所。フリーのデザイナーとして赴いたインドで、最初に訪れた土地がこのオリッサでした。訪ねたのは、知り合いの若手テキスタイルデザイナーのアトリエ。彼女は生地と衣類をデザインし、地元で仕事を生み出し、地元集落の女性たちと日々製作をしています。将来仕事の幅を広げるためミシンの技術を身につけたいと、フルタイムで働きたい若い女の子たちもいれば、家事の合間の時間を使って少しでも生計の足しにしたい主婦層もいます。彼女たちと共通する持ち前の明るさと、手仕事に対するひたむきさに心打たれ、しばらくそのアトリエに滞在し、もの作りのサポートを行いました。手仕事で女性たちの生活が変わる——観念的に理解していたことを実際に目の当たりにしたことが、「仕事とは「生きる」とは」について考えるきっかけに。今後も現地のデザイナーと協力して、プロジェクトの持続可能な活動のため試行錯誤を続けていきます。

あなたの作品募集中!

「my photo」は10月号より「私が見つけたSDGs」として新たにスタートします。「私が見つけたSDGs」では、国際協力や途上国を身近に感じられる写真を募集しています。SDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)の17の目標*の中から、あなたに関心を持っている・取り組んでいるテーマについての写真を、撮影時のエピソードを添えてご応募ください。応募作品の中から毎月1点を、このコーナーで紹介させていただきます。

応募・問い合わせ先 ▶ ML_JICAPR@jica.go.jp (『mundi』編集部宛て)

*国際連合広報センターHPを参照 ▶ http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/